

平成 19 年度 県 土 整 備 部 の 予 算 案

現在、県議会 2 月定例会で審議されている平成 19 年度当初予算案ですが、一般会計は 6,965 億円余（対前年比 5.9%減）となっています。このうち、県土整備部（一般会計）は、775 億円余（同 17.1%減）であり、前年に比較して減少幅が大きくなっています。

当部予算額の減少率が大きい理由は、

- ① 公共事業費に、補助△10%、単独△15%、直轄△3%の厳しいシーリング（一般財源ベース）が課せられたこと。
- ② 平成 19 年度は骨格予算であり、新規事業や大半の新規予定箇所が 6 月補正対応となったこと。
- ③ 国の補正予算に合わせ、平成 19 年度当初予算計上予定分の一部を平成 18 年度 2 月補正に前倒し計上したこと。等によるものです。

また、県土整備部予算内訳を見ると、道路や河川、ダム、港湾等の新設改良等に要する普通建設事業費は 555 億円余であり、前年度から 187 億円余、25.3%の大きな減少となっています。

この普通建設事業費の推移（当初予算ベース）を見ると、ピークの平成 9 年度（1,371 億円余）からほぼ毎年減少を続け、平成 19 年度ではピーク時の約 4 割となっています。

こうした厳しい財政環境ではありますが、平成 19 年度は、次の 3 点を最重点施策として取り組むこととしています。

●産業振興支援

・港湾と内陸を結ぶ物流ネットワークの構築
⇒キャリアカー等大型車の円滑な通行を確保する国道 283 号、397 号等の整備

・観光振興や一次産業の支援

⇒平泉世界文化遺産登録を契機とした国内外の観光客増に対応するいわて花巻空港新ターミナルビルの建設

⇒龍泉洞や北山崎等へのアクセス向上や安全な通行を確保する国道 455 号早坂道路（トンネル）の完成

⇒生産地から市場まで円滑に輸送するための農道等の整備

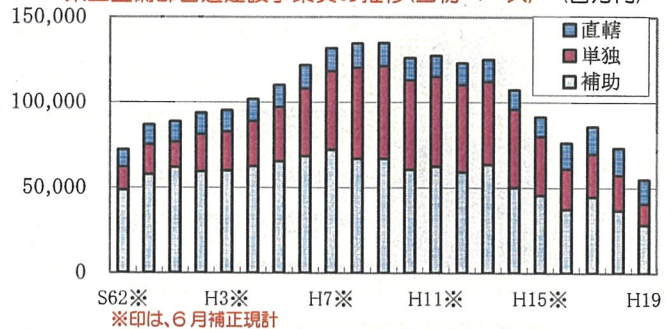
平成 19 年度当初予算（一般会計）（百万円、%）

| | H18 | H19 | 増減率（%） |
|--------------|---------|---------|--------|
| 県当初（一般会計）A | 739,862 | 696,534 | △5.9 |
| 県土整備部（一般会計）B | 93,550 | 77,540 | △17.1 |
| 県土シェア B/A | 12.6% | 11.1% | — |

県土整備部予算性質別内訳（一般会計）（百万円、%）

| | H18 | H19 | 増減率（%） |
|-----------|--------|--------|--------|
| 義務的経費 A | 4,697 | 4,639 | △1.2 |
| 投資的経費 B | 79,142 | 61,618 | △22.1 |
| うち普通建設事業費 | 74,318 | 55,548 | △25.3 |
| うち災害復旧費 | 4,824 | 6,070 | 25.8 |
| その他経費 C | 9,711 | 11,284 | 16.2 |
| 合計（A+B+C） | 93,550 | 77,541 | △17.1 |

県土整備部普通建設事業費の推移（当初ベース）（百万円）



●安全・安心な県土づくり

・地震、津波対策

⇒今後 30 年間での発生確率が 99%である宮城県沖地震に備えるための防潮堤や水門、津波防災ステーション等の整備

⇒大地震（兵庫県南部地震相当）発生時に緊急物資輸送ルートを確認するため、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強を 3 ヵ年（H17～19）で集中的に実施（H19 は 20 橋実施）

・洪水、土砂災害対策

⇒平成 14 年に大災害を受けた砂鉄川の復旧を概ね完成させるとともに、近年豪雨による浸水被害が頻発している木賊川等の整備のほか市町村が作成する洪水ハザードマップの作成支援

⇒土砂災害を防止する砂防えん堤等の整備とともに土砂災害警戒区域等指定に向けた取り組み推進

●戦略的な維持管理

・急激に老朽化が進む社会資本を適切かつ計画的に維持管理するため、維持管理予算を増加するとともに、橋梁、舗装のアセットマネジメントの導入に向けた取り組み推進

●このほか、快適な生活環境を確保するための公共下水道、浄化槽、農業集落排水の汚水処理施設整備、都市内道路や区画整理等の都市基盤整備、鳴石団地（陸前高田市）等県営住宅の建設を行います。

また、建設業の構造改革を推進するため、新分野進出や経営革新、企業連携等の支援に取り組むこととしています。

●● 当初予算の要点 ●●

○ いわて花巻空港 新ターミナルビルの建設

- ・「新ターミナルビル」建設所要額の一部（国際線の利用施設、バリアフリー設備等）を補助。
- ・「新ターミナルビル」の建設にあわせ、ビル周辺の空港施設（駐機場舗装）や駐車場等を整備。

※ 早期発注・完成のため、平成18年度2月補正予算において債務負担行為の設定が可決された。

○ 国道455号 早坂道路 H19供用

- ・峠部の難所解消。冬期間の安全で円滑な交通を確保。（約10分短縮）

○ 緊急輸送道路の橋梁耐震補強三箇年プログラムの完了

- ・大地震発生時に救助、救援活動や緊急物資輸送に不可欠な「緊急輸送道路」としての機能を確保。

重点施策1 産業振興支援

| | | |
|----------------|---|---------|
| 港湾と内陸 を結ぶ物流 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 国道283号(上郷道路 他) 458百万円 ◆ 国道397号(津付道路、高屋敷、分限城～赤金) 220百万円 ◆ 国道107号(荷沢峠) 50百万円 | 県北・沿岸振興 |
| 一次産業や 観光振興の | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 国道455号(早坂道路) 1,030百万円 県北・沿岸振興 ◆ 農道・林道整備(軽米九戸地区 110百万円 県北・沿岸振興、翁沢線 38百万円 他) | |

重点施策2 安全・安心な県土づくり

| | |
|----------------|--|
| 地震・津波 災害の対策 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 海岸整備事業(平内海岸 150百万円、大船渡港海岸等 267百万円 他) 県北・沿岸振興 ◆ 緊急輸送道路の橋梁耐震補強三箇年プログラム 20橋 488百万円 |
| 洪水・土砂 災害の対策 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川改修事業(砂鉄川 142百万円、木賊川 540百万円、岩崎川 200百万円 他) ◆ ダム建設事業(築川ダム 1,000百万円、津付ダム 530百万円、遠野第2ダム 1,400百万円) ◆ 砂防事業(大荒沢川砂防えん堤 55百万円 他) |

重点施策3 戦略的な維持管理

| | |
|--------------|--|
| 計画的な 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 維持管理予算の確保 10,437百万円【18当初比 1.02倍】 |
|--------------|--|

○ 快適な生活環境・都市基盤整備 ○ 建設業構造改革

| | |
|--------------|---|
| 快適生活 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村が実施する下水道、浄化槽の整備に対する補助等 1,793百万円 ◆ 都市内の基盤整備(盛岡南新都市開発 2,000百万円、国道455号北山バイパス 3,200百万円) |
| 経営革新 取組支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新分野進出など経営力強化の取組みの支援等(建設業総合対策事業 29百万円) ◆ 経営革新に取り組む企業への資金貸付(いわて建設業経営革新特別資金貸付金 424百万円) |